

# 藝園草牧





# 園藝學會の開催を祝して

雪印種苗株式会社

この度、わが国の園芸学会が北海道に開催せらるることは、本道の園芸界にとつてこの上もなく慶ばしい次第である。

本道は明治初年開拓の当初より果樹、蔬菜、花卉を欧米より取入れて、北方文化生活の伴侶たらしむべく、斯界の先人によつて撓まざる奮闘努力がつづけられ、幾多の特産物を産み、広く国民生活の向上に寄与するところが少くなかつた。しかるに支那事變、大東亜戦争の影響で、農業の戦時統制が強行せられ、園芸界をはなはだしく圧迫した結果、全般的に業界は萎微沈滞し今日に至つてゐるが、今回全国各地の大学、研究機関の權威の方々多数御来道の上、貴重なる研究の御発表を戴き現地に即した御指導を賜わることとは、本道の業界に対し清新の氣を注入するごとも光明を点ぜらるるものと、大なる期待を懸け、衷心より歓迎し祝福を捧げるものである。

なお、この度の学会を契機として、本道の農村には園芸の復興運動が澎湃として興り、各種園芸作物の質的改善と、科学的肥培管理の實行により増産の実を挙げ、農村經濟の振興と国民生活文化の昂揚に貢献するに至ることを念願する。

また、わが国は南は鹿児島県より北は北海道まで四季折々の果実、蔬菜、花卉の種類と風趣を異にしているので、それぞれの交流によつて遍く恩恵に浴し、生活を美化し、豊かなる情趣をたのしみ得ることは何たる幸せであらうかと常々感謝してゐるが、さらにさらに全国民がこの喜びを満喫し、ひとしく恩恵に浴し得るよう、本学会の益々隆盛ならんことを祈念せずにはおられない。

## 牧草と園藝 八月號

### 目次

- ◇表紙題字……………北海道園芸会々頭 星野 勇三
- ◇表紙写真……………北海道大学附属植物園
- ◇園芸学会の開催を祝して……………雪印種苗株式会社
- ◇鉄砲百合の栽培とその将来……………明道 博…一
- ◇短期輪作と果樹の下草に有望な  
クリムソンクローバー……………安孫子 太郎…三
- ◇果樹の寒害について……………宮下 揆 一…五
- ◇お奨めしたい苜蓿栽培とその優良品種……………  
白 幡 喜 一…七
- ◇早春の青刈飼料……………三浦 梧 楼…九
- ◇上野幌育種場便り……………三
- ◇雪たね特報